

編集にあたって 姜尚中

巻頭言 李成市

凡例

第1章

大乘仏教の成立

斎藤 明

はじめに

ナーガールジュナ（二五〇頃～二五〇頃）

005 003

- 一、ナーガールジュナとその名称
- 二、ナーガールジュナの足跡
- 三、ナーガールジュナの複数の顔
- 四、仏教思想史上のナーガールジュナ
- 五、ナーガールジュナの思想 二真理（二諦）説／言語観、空の有用性

六、ナーガールジュナ以降の諸論師と思想系譜 中観派の誕生とその思想背景／瑜伽行派の唯識、三性説／如来蔵・仏性思想／ナーガールジュナのインド大乘仏教思想史における位置と以後の展開

第2章

上座部仏教の形成

馬場紀寿

はじめに

ブツダゴーサ（五世紀頃）

025 023

- 一、大寺派の成立
- 二、ブツダゴーサの生涯
- 三、パーリ語で書くということ
- 四、実践思想の体系化
- 五、正法の存続期間
- 六、パーリ正典を確定する
- 七、大寺派にとっての「上座部」の意味
- 八、伝記の成立

ダンマパーラ（生没年不詳）

042

マハーナーマ(五世紀頃)

その他の人物

デーヴァーナンプイヤ・ティッサ／マヒンダ／ドウツタガーマニー・アバヤ／マハーセーナ／ヴィジヤバールフ一世／パラッカマバールフ一世

047 044

第3章

英雄は聖人の夢を見る

五胡十六国時代 覇者たちの栄光と挫折

佐川英治

はじめに

055

苻堅

(三三八～三八五)

059

- 一、長い帰路
- 二、混乱の時代
- 三、開明君主の登場
- 四、天下統一への道
- 五、帝王の孤独
- 六、淝水の戦い
- 七、最後の英雄

劉淵

(?～三一〇)

092

石勒

(二七四～三三三)

094

石虎

(二九五～三四九)

097

桓温

(三二二～三七三)

100

謝安

(三二〇～三八五)

102

慕容垂

(三二六～三九六)

104

その他の人物

106

劉曜／仏図澄／冉閔／慕容暉／慕容泓／慕容冲／姚弋仲／姚襄／姚萇／道安／拓跋珪

第4章

六朝時代とは何であつたか

アジアの名文集『文選』の誕生まで

齋藤希史

はじめに

113

昭明太子

(五〇一～五三二)

117

一、政争と文雅 六朝の記憶／名族と寒門／文化の成熟

- 二、集いと交わり 名士の集い／寒門の文人／王子の学友
- 三、『文選』の誕生 正統と新変／理想の皇太子／総集の精華

陶淵明 (二六五～四二七)

- 一、動乱からの離脱
- 二、名士と隠者
- 三、圏外存在

曹植 (一九二～二三二)

謝靈運 (三八五～四三三)

その他の人物

阮籍／陸機／顔延之／蕭子良／謝朓／沈約／劉孝綽／劉勰／徐陵

第5章

王朝の興亡と皇后の運命——隋唐革命

村井恭子

はじめに

蕭皇后 (五六六頃～六四七)

- 一、晋王妃から皇太子妃へ 隋への興入れ／祖国後梁の滅亡と隋による中国統一／文帝・独孤皇后夫婦と蕭妃／晋王妃から皇太子妃へ
- 二、皇太子妃から皇后へ——煬帝の治世を中心に 隋の江南支配における蘭陵蕭氏／煬帝の諸政策と蕭皇后／蕭皇后がみた外部世界／高句麗遠征の失敗と突厥の雁門包圍事件／江都への逃亡
- 三、流亡期(一)——煬帝の死と群雄割拠 煬帝死す／蕭皇后と隋の「後継者」たち／群雄割拠／蕭皇后の流転
- 四、流亡期(二)——隋亡命政権の誕生／江都への帰還 中国の再分裂と突厥／蕭皇后と義成公主の再会／隋亡命政権の誕生／突厥問題と玄武門の変／隋亡命政権の終焉／蕭皇后に対する措置／義成公主の死と天可汗李世民／彷徨の果てに

義成公主 (?～六三〇)

蕭瑀 (五七四～六四七)

唐高祖 (五六六～六三五)

その他の人物

文帝／独孤皇后／煬帝／虞世基／裴矩／南陽公主／楊侗／楊侑／蕭贇／蕭巋／蕭巋／蕭瑋／蕭瑋／蕭瑋／蕭瑋／蕭瑋
 蕭瑋／顔之推／智顛／啓民可汗／始畢可汗／処羅可汗／頡利可汗／長孫晟
 麴伯雅／慕容伏允／楊玄感／宇文化及／李密／竇建德／王世充／蕭銑／梁師都
 太宗／李建成／長孫無忌／房玄齡／杜如晦

隋の文帝——時代に選ばれた皇帝

河上麻由子

はじめに

237

文帝(五四一〜六〇四)

238

舍利塔建立／那羅延／成人から随国公まで／廢仏／禪讓へ／建国／天下統一／高句麗遠征／子
供たち／舍利塔建立事業／死去

爾朱榮(四九三〜五三〇)

276

宇文泰(五〇五〜五五六)

279

高歡(四九六〜五四七)

282

楊帝(五六九〜六一八)

285

その他の人物

288

韋孝寬／韋世康／尉遲迥／宇文愷／賀若弼／葛榮／賀拔岳／牛弘／
 虞慶則／猷文帝／高頴／孝靜帝／孝文帝／蕭督／薛道衡／宣武帝／
 蘇威／智顛／智仙／陳後主／鄭詵／独孤皇后／独孤信／曇延／
 北周武帝／楊素／楊雄／李德林／劉昉／梁武帝

高句麗隆盛——四〜五世紀の朝鮮三国と倭

井上直樹

はじめに

309

広開土王(三七四〜四一一)

314

一、広開土王前史——高句麗の成長と苦難 高句麗の勃興と苦境／二度目の苦難
 二、広開土王代の国際関係 広開土王の即位／広開土王を取り巻く厳しい国際情勢／広開土王の
 最初の軍事行動——对禪麗戦と遼東巡行／広開土王の対百濟戦と百濟の対倭同盟強化策／戦闘
 から和平へ——広開土王の対後燕・北燕戦略／南方戦略の再始動
 三、広開土王の築いた高句麗勢力圏と古代東アジア世界 高句麗の対新羅政治的・軍事的影響の
 伸展／広開土王の勢力拡大と周辺民族観——新羅・百濟の場合／広開土王の周辺民族観——東夫
 余の場合／高句麗勢力圏独自の君主号／高句麗独自の天観念と広開土王の王陵整備／中国王朝
 と高句麗／高句麗勢力圏と府官制／高句麗勢力圏の影響と倭の勢力圏

長寿王(三九三／三九四〜四九一)

345

広開土王の薨去と長寿王の即位／長寿王の南下政策推進と平壤遷都／高句麗西方情勢の急変
 ——北魏の勢力拡大と北燕／長寿王の対北魏・北燕政策／長寿王の対北魏外交の変化と新羅の高
 句麗への抵抗運動／長寿王の南下政策と百濟の苦境／高句麗軍による百濟王都攻略と百濟の一
 時滅亡／長寿王のさらなる南下政策

美川王(？～三三二)…………… 358
故国原王(？～三七二)…………… 359
近肖古王(？～三七五)／近仇首王(？～三八四)…………… 362
未斯欣(？～四三三)…………… 365

その他の人物

小獸林王／故国壤王／慕容皝／慕容雲／辰斯王／阿華王／腆支王／楼寒(奈勿王)

369

第8章

朝鮮半島の六世紀——百済の中興と新羅の台頭

田中俊明

はじめに……………

377

武寧王(四六二～五二三)

380

- 一、誕生から即位まで 日本からの和議要請／高句麗領への進出
- 二、武寧王の領土拡大 馬韓制圧／武寧王の己汝・多沙進出
- 三、武寧王の外交 倭国・耽羅との関係／梁との関係／武寧王派遣の使者の図
- 四、武寧王陵の発見

真興王(五三四～五七六)

397

- 一、真興王の出自
- 二、百済との同盟 百済からの和議要請／高句麗領への進出
- 三、加耶を分割 西海岸の獲得へ／大加耶を滅ぼす／巡狩碑を建てる／花郎の創設
- 四、中国通交と伽藍寺院の造営 北齊および陳との通交／興輪寺・皇龍寺の造営／王の薨去

蓋鹵王(？～四七五)

411

文周王(生没年不詳)

415

聖王(聖明王)(？～五五四)

421

継体大王(四五〇？～五三一)

424

その他の人物

429

昆支／東城王／淳陀太子／威徳王／武王／長寿王／陽原王／
慈悲王／炤知王／法興王／異斯夫／斯多含／善花公主／嘉悉王／
異腦王／仇亥／于勒／穗積臣押山／阿賢移那斯／欽明大王

倭国の文明化と六〜七世紀の東アジア

— 厩戸王子の到達点

河内春人

はじめに

443

厩戸王子 (五七四〜六二二)

449

- 一、生い立ち
- 二、中国文明の受容 中国文明の流入／南朝文化圏と北朝文化圏
- 三、倭国の文明化 仏教伝来／推古朝前夜
- 四、推古朝という時代 厩戸の血脈／推古朝の政治と学術／推古朝の政策と中国文明
- 五、厩戸王子の到達点 厩戸王子の死／推古朝の遺産

推古大王 (五五四〜六二八)

481

蘇我稲目 (五〇六?〜五七〇)／蘇我馬子 (五五一?〜六二六)

485

止利仏師とその一族

492

その他の人物

499

東アジアの亡命者／府官たち／五経博士／日羅／崇峻大王／
小野妹子／秦河勝／観勒／慧慈

古代東アジアの外交と戦争

李成市
植田喜兵成智

はじめに

511

金春秋 (六〇三〜六六一)

514

三度の人生の転機と女性親族の死／大耶城の陥落と金春秋の対高句麗外交／上大等・毗曇の乱と
対倭・唐外交／春秋の新羅内政改革／真徳王の死去後の即位事情と百濟討伐

神文王 (?〜六九二)

530

即位直後の謀反事件／近親者による謀反の背景／国家統合からみた骨品制／中代王室の創出者
／三国統一完成者の苦悩

金庾信 (五九五〜六七三)

543

文武王 (六二六〜六八〇)

549

その他の人物

553

善徳王／慈蔵／真徳王／金仁問／淵蓋蘇文／義慈王／祢軍／
黒齒常之／薛仁貴／大祚栄

はじめに……

565

天智天皇 (六二六～六七二)……

571

天智天皇像の再構築／青年時代／孝徳期／斉明期／白村江の敗戦と称制／即位と近江遷都

天武天皇 (?～六八六)……

587

古代国家の基礎を創った天皇／中大兄と大海人／天智との対立／天皇号の成立／空間と時間を統べる天皇／官人制の整備／中央集権的政策

孝徳天皇 (五九七頃～六五四)……

597

中臣鎌足 (六一四～六六九)……

599

皇極天皇(斉明天皇) (五九四～六六二)……

600

大友皇子 (六四八～六七二)……

602

持統天皇 (六四五～七〇二)……

604

藤原不比等 (六五九～七二〇)……

605

文武天皇 (六八三～七〇七)……

607

百済王／百済亡命遺民……

609

その他の人物……

610

犬上君御田歙／古人大兄皇子／薬師恵日／南淵請安／高向玄理／

神功皇后／有間皇子／伊吉博徳／阿倍比羅夫／廬原君臣／高表仁／

余豊璋／鬼室福信／義慈王／郭務棕／劉仁願／劉仁軌／耽羅王子／蘇我入鹿／

蘇我倉山田石川麻呂／蘇我赤兄／蘇我日向／大伯皇女／刑部親王／

高市皇子／額田王／定恵／中臣大嶋／中臣意美麻呂／黄文本実／粟田真人

はじめに……

629

ムハンマド (五七〇頃～六三二)……

633

一、ムハンマドを知る手がかり

二、メッカ時代のムハンマド 生い立ち／ムハンマドと啓示／メッカでの布教

三、メディナ時代のムハンマド 信仰の確立／ユダヤ教徒との決裂、アブラハムの宗教の確立／

メッカの異教徒との戦い／アラビア半島のイスラーム化
四、ムハンマドの家庭生活

アブー・バクル (五七三頃～六三四)……………

ウマル (五九二頃～六四四)……………

アリー (六〇〇頃～六六一)……………

ハデイージャ (?～六一九)……………

ア―イシヤ (六一四頃～六七八)……………

その他の人物……………

アブー・ターリブ／ハフサ・ビント・ウマル／ファアティマ／

ウスマーン・イブン・アッファーン／フサイン・イブン・アリー／

ザイド・イブン・ハリサ／ワラカ・イブン・ナウファル／

ズバイル・イブン・アウワーム／イブン・ズバイル／アブー・フライラ／

ハッサーン・イブン・サービト／ビラール／ザイド・イブン・サービト／

ズフリー／ハサン・バスリー／イブン・イスハーク／アブラハム／

ガブリエル／アブラハ／ハリド・イブン・ワリード／

アムル・イブン・アース／サアド・イブン・アビー・ワッカース／

アブー・スフヤーン／ムア―ウイヤ／アブドゥルマリク／

クタイバ・イブン・ムスリム／カール・マルテル／ウマル二世

676 674 673 671 669 667

執筆者一覧

写真提供・図版出典